

背景

楽しい給食の時間。
笑顔があふれる一方で、
食事に意欲がなく、姿勢が崩れるAくんがいる。

- ☆横に揺れる
- ☆身体が歪む
- ☆自分で食べようとする姿がなかなか見られない。

どうしてまっすぐ座って
食べられないのかな



机と椅子の高さと身体の大きさは合っている。
好き嫌いが原因かな？
でも好きなものを食べる時でも姿勢が崩れている。
ということは…

**姿勢を保持すること自体が
難しいのではないかな？**

発見!!

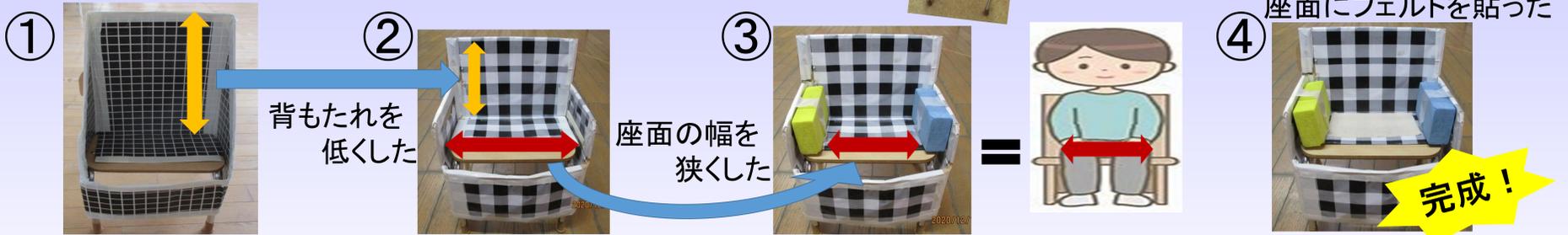
段ボールあそびの時にAくんが段ボールの中にすっぽりと入って正座し、
楽しそうにあそんでいた。



囲まれていると座りやすいのかな？補助することで座れるかもしれない。
Aくんに合った、Aくんが座りやすい、『椅子』を作ってみよう。

取り組み

Aくんの体がすっぽりと囲われる補助を作ってみた



Aくんの座り方の変化



背もたれに
頼りすぎて
前にすべる

肩で押して
壊す



左右に
揺れる



前にすべる



安定して座れる!

食事への意欲

変化なし

保育士と相談して食べるものを決めて
食べようとする

自分から食べるものを決めて
食べようとする

結果

・Aくんの『自分だけの椅子』を作るにあたり最も重要な点は**太もも～腰部分にかけて隙間がないように囲う**ことであった。

・『自分だけの椅子』により姿勢が保持され、背筋を伸ばし前を向いて食事をするが増えた。

考察・まとめ

- ・市販の椅子の高さが身体の大きさに合っていたとしても、座面の幅が合わないことで座りづらく姿勢を保持しづらと考えられる。
- ・また、『自分だけの椅子』を使用することで目の前の食事を意識しやすくなり、「食べてみよう」という気持ちも芽生えてきていると思われる。
- ・今回は椅子に特化したけどどもたちが生活の中で何に困っているのかを考え、一人ひとりの姿に合った環境を用意し、みんなが楽しく笑顔溢れる園生活を過ごせるようにしていきたい。